

光反射シートの地表面敷設によるブドウの収量増加技術



～ブドウの果実品質を維持し、収量を増やす技術～

連携機関 | 東部工業技術センター
研究期間 | 平成24～26年度[開発研究]

研究開発のきっかけ

- ◆ 気候温暖化の影響でブドウの果実では着色不良が発生し、房数を増やすと果実品質が低下する状況となっています。
- ◆ 葉に当たる光を多くすることで生産性を高め、房数を増やしても着色などの果実品質を維持できる技術の開発を目指しました。

研究成果の概要

- ◆ ブドウ園の地表面に光反射シートを敷設することで、葉に当たる光を多くして生産性を高め、房数を増加させても果実品質を低下させることなく、収量を増加させる栽培技術を開発しました。
- ◆ 黒色系品種‘ピオーネ’では、この技術により収量を慣行の約1.3倍に増やすことができます。
- ◆ 黄緑色系品種‘シャインマスカット’では、この技術により収量を慣行の約1.4倍に増やすことができます。
- ◆ 黄緑色系品種‘シャインマスカット’では、この技術に加えて、新たな垂直方向の枝を追加することも可能で、全体で収量を慣行の約1.8倍に増やすことができます。



慣行ブドウ園



光反射シート敷設ブドウ園

研究成果の活用状況

- ◆ 世羅郡世羅町の株式会社サンワファームにおいて、平成26年度から本技術の実証を行っています。
- ◆ 本技術の手引書を作成していますので、技術導入を検討されている場合は下記にご連絡ください。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522